

かかりつけ医 を持ちましょう!



●かかりつけ医とは

日頃からご自身やご家族の病気や健康について気軽に相談に乗ってくれる“ホームドクター”のことです。体調不良、風邪・軽いケガなどの日常的な病気の治療や、退院後、病状の安定した外来診療を行っています。

かかりつけ医は、患者さんやご家族の体調、生活習慣、病歴などを把握しているため、ちょっとした異変でも早期に発見し、病気の進行をくい止めることができます。また、かかりつけ医師の専門外の病気や、高度な医療機器による検査、入院が必要な場合などには、適切な医療機関や専門医を紹介していただけます。

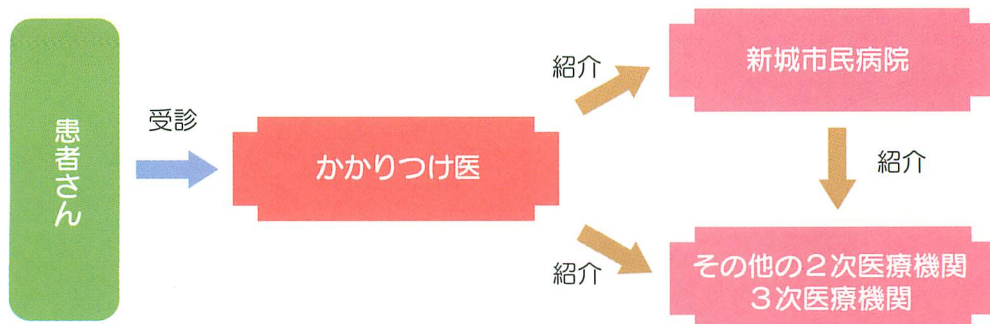
●市民病院へはかかりつけ医の紹介で

ご自身やご家族の体調に異変が起きたら、まずかかりつけ医で受診してください。必要であれば市民病院などへ紹介してもらいましょう。かかりつけ医の診療情報を持参して診療すると、スムーズに診察を受けることができます。

紹介状なしで市民病院を受診すると、

- 手続きに時間がかかり、長時間待たされる
- 医療が専門であるため医療費が割高になることがある
- 主治医がかわることがある

市民病院で受診する際、自分の判断で診療科を選択すると、長時間待たされた挙句に他の科へまわされることにもなりかねません。このようなことを避けるためには、まずかかりつけ医に相談し、症状にあった診療科を紹介してもらいましょう。



●診察時間内に受診しましょう

時間外に受診されると、「専門医がない」、「簡易な検査しかできない」、「必要な処置が行えない」など患者さんにとって不利益なことが予想されます。

“昼間に無理をして夜遅くなってから受診する”、“平日に我慢して休日に受診する”というようなことがないように、夕方までにご家族の健康状態をチェックして診察時間内に受診するよう心がけましょう。